

河川シミュレーションソフト iRIC 講習会 開催報告書

富山県後援事業

1. 概要

開催日時	2023年11月21日(火)	10:00~15:20
開催場所	NiX ビル1階大ホール	
参加者	7名	

2. プログラム

10:00~10:10	開会あいさつ (日本技術士会 北陸本部 富山県支部)
10:10~11:00	Nays2DHの使い方① 地形データ、計算格子、計算条件設定
11:00~11:10	休憩
11:10~12:10	Nays2DHの使い方② 粒径、掃流砂の設定、実際の計算
12:10~13:00	休憩 (昼食は各自で準備をお願いします)
13:00~14:00	Nays2DHの使い方③ 結果の可視化
14:00~14:10	休憩
14:10~15:10	Nays2DHの使い方④ 計算精度向上のための手法、質疑応答
15:10~15:20	閉会あいさつ (日本技術士会 北陸本部 富山県支部)

講師：富山大学都市デザイン学部 教授 木村 一郎 氏

3. 開催概要

講習会は、iRICの成り立ち・Nays2DH（河床変動検討に特化したソルバー）の特徴紹介から始まり、木村教授が出版した書籍「iRICによる河川シミュレーション」に基づき、富山県内の神通川という実際の河川を対象として、モデル作りから解析までの一連の流れについて、初心者にも分かり易い内容で講義いただいた。

本講習会は昨年度に引き続き、富山県のご後援をいただき、技術者の技術研鑽に寄与する取組みとして実施した。県内外の建設コンサルタント会社の技術者の参加が見られ、有意義な講習会となった。

多々あるソルバーの中で昨年は「Nays2D Flood」、今回は「Nays2DH」に関する講習であったが、その他にも、土石流・津波の計算や3次元計算を実行できるソルバーがあるため、定期的な講習会実施・地方自治体職員の参加拡大を計画・企画したいところである。



写真1 講習会風景

4. 参加者アンケート結果（回答者 4 名）

（1）参加者の状況

30、40 代の参加者が全体の 50% ずつと若手技術者の参加が多く見られた。

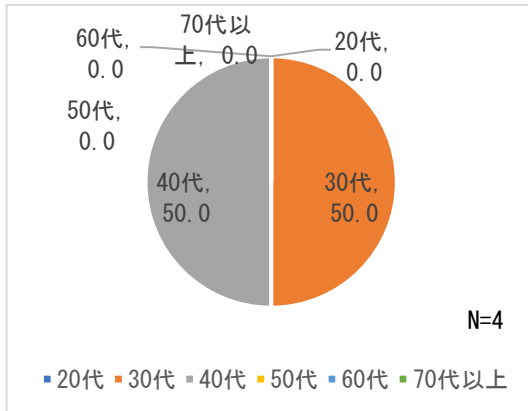


図1 アンケート回答年代

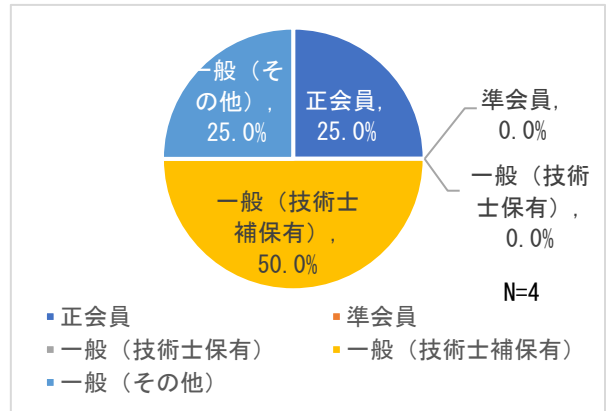


図2 参加者の入会状況

（2）講演会参加のきっかけと動機

講演会参加のきっかけは「日本技術士会富山県支部からのメール」「知人、会社関係者からの紹介」が最も多く、参加の動機としては「知識の習得のため」、「仕事上に役立てたい」が多く見られ、業務に直結する技術研鑽としての参加が伺える。

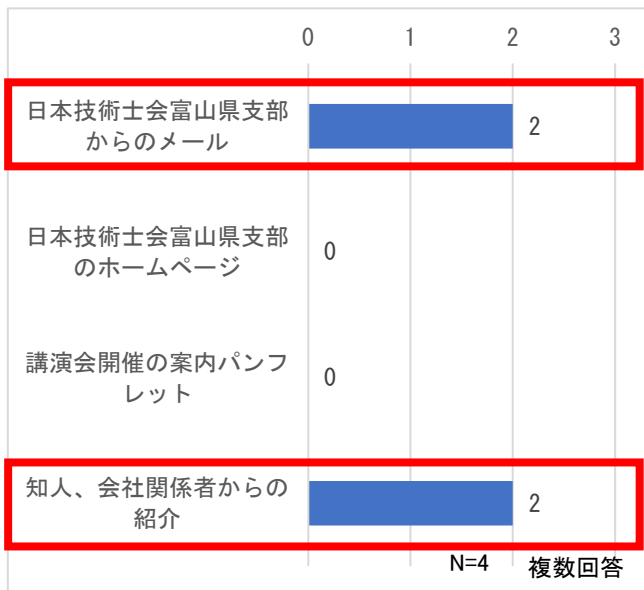


図3 参加のきっかけ

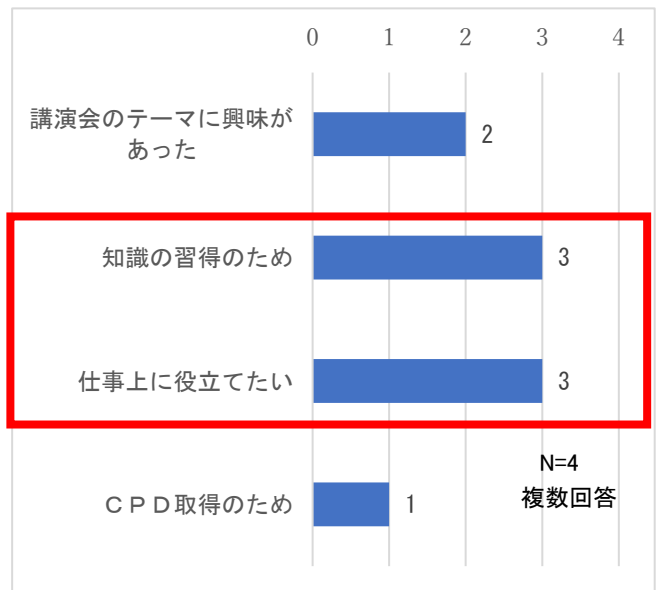
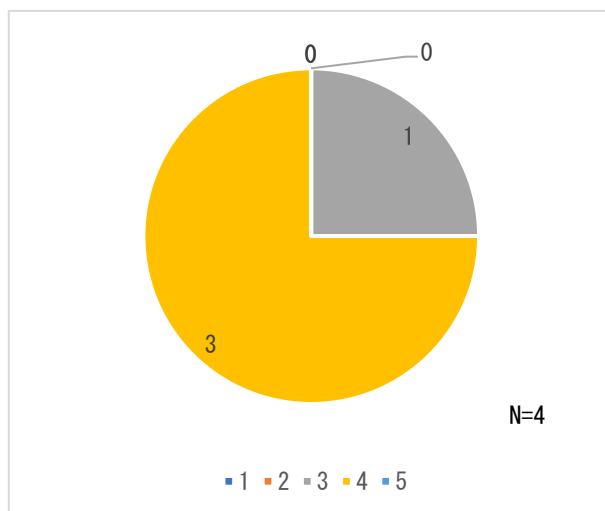


図4 参加の動機

(3) 参加者の満足度

講演会の満足度は4点以上が約75%と総じて高かった。平均点が3.75点であった。



(4) 具体的な評価に関する意見

40代	実践的な内容だったのと、演算結果に対する考察やiRiCの適用条件について説明があったことが良かった
30代	良かった点：実河川のデータを使用した演習ができたこと。改善点：講師との質疑応答の時間をもう少し長く設けて頂きたかった。
30代	Web聴講可にするともう少し参加者が増えたのではないかと思います。
30代	iRIC NaysCUBEを用いた3次元の水理解析、河床変動解析の解説・実習を希望する。